録音

音響室で録音用の三点マイクのフェーダーを上げ、三点マイクのグループ（基本的には７，８．グループ分けが変更になっていないか）を確認し、舞台袖音響卓と三点マイクをパッチする。

録音チェック

ディスクが入っていない状態でレコードボタンからの工程を行う

　・inputserecを何回か押してレベル確認モードを選択

　・ゲインのLとRを同じくらいに合わせる（基本２時位）

　・マイクでしゃべると３点吊マイクが音をひろうので、レベルが変化していればチェックはOK。

　・MDも大体おなじ。レコードボタンをおしてレベルが表示されているかどうかを確かめる。

**CDでの録音**

**①CDプレイヤーにディスクを入れる**

挿入するときはイジェクトボタンを押す。直接押さない）

**②ロードが終了し、Brank　Discと表示される**

**③オートアウト、オートレディがoffになっていることを確かめる**

（オートアウト:音が小さくなりすぎると自動で次のトラックに移動してしまう）

**④レコードボタンを押す**

**⑤INPUT SERECTでレベル確認モードに設定する**

・RとLのバランスが同じくらいになるようにつまみであらかじめ調節する

・ピークの音で－8～－6、最低値で－20。－20以下にはならないよう気を付ける。

・アンサンブルはオーケストラよりも音が大きいので音量の変化に注意する。

・関係ないボタンを押すと混乱するので基本操作（プレイ、レコード）以外は触らない

！CDデッキはごくまれに不具合で止まってしまう事があるので、MDも同時に録音をする

**⑥プレイボタンを押して録音スタート**（本ベル後開始）

容量の問題も有るので、休憩や長い場面転換の間は一時停止にしておく。

**⑦録音が終了したら、音量のツマミを両方0にする。**

**⑧FINALIZE（ファイナライズ）を選択し、JOGのツマミを二回押して決定。**

この作業をしなければ録音した音声はCDで再生できないので注意

**⑨読み込みを待ち、終了したらCDを取り出す**。

**MDでの録音**

**①MDをプレイヤーに挿入する（本体矢印の向きに差し込む）**

**②読み込みが終わったらレコードボタンを押す。**

**③プレイボタンで録音開始**（予ベル後開始）

EDIT/INで録音用のモードが選択できる。それを選択、決定すると録音時間の選択ができる。

LP4でだいたい3時間くらい。１公演まるまる撮れるくらいの容量。

**④ストップボタンで録音終了。**

MDではファイナライズの必要はない。

**⑤読み込みが終了したらディスクを取り出す**

・時間がない場合は後からファイナライズすることもできる（ファイナライズ時間は約一分）

ディスク挿入→ファイナライズ→JOGを押して決定

・トラック分け→一時ていし押して次トラックに移動

・CD一枚に分けて録る→一小節目の録音が終わったらファイナライズをせずにディスクを出し、次の順番になったらもう一度入れて録音、ファイナライズ

・三点吊りマイク

下手・中央・上手から吊られたマイク。降ろす場合はリモコンを使って降ろす。

・デッキをつなぐときは音響卓にキャノンケーブルでANAROG　INに接続する。そうする事でLとRを別々に取り込むことが出来る。

・MD録音時の注意点

勝手に切れないように設定する

エディット→REC→押してツマミを回す→A-TRACKを選択→決定した後に録音開始